

令和6年度 一般会計決算（見込）のポイント

物価高騰に対応するとともに、市制100周年の取組を実施

－ 市税収入は3年連続で過去最高となるも、ふるさと納税の影響による減収も引き続き拡大 －

1 総括

- ・実質収支は64億6,400万円（前年度43億6,900万円）
- ・市税収入は3,909億円（前年度3,879億円）
- ・ふるさと納税の影響による減収額は138億円（前年度123億円）
- ・歳出規模は8,622億円（前年度8,526億円）
- ・減債基金からの借入を10億円返済（借入残高507億円）

2 歳入の状況

歳入の根幹である市税は、定額減税の実施による個人市民税の減があるものの、企業収益の増加による法人市民税の増、土地の評価替えに伴う課税標準額の増加による固定資産税の増などにより、3年連続で過去最高を更新しました。一方で、ふるさと納税の影響による減収も過去最大となりました。

また、市債は、本庁舎等建替事業や廃棄物処理施設整備事業の進捗などにより減となりました。

3 重点的な取組

次の100年に向けて「あたらしい川崎」を生み出していくためのスタートラインとして、オール川崎市で市制100周年記念事業を実施するとともに、「全国都市緑化かわさきフェア」を開催しました。

子育てを社会全体で支える取組として、質の高い保育・幼児教育の実現に向けて、保育受入枠の確保や保育士の処遇改善の取組を推進し、学校教育では、「かわさきGIGAスクール構想」の推進やスクールソーシャルワーカーの配置を拡充するなど、児童生徒一人ひとりに寄り添った支援などの取組を推進しました。施設整備事業としては、富士見公園について南側エリアの運営を開始するとともに、浮島処理センターの基幹的整備や新小倉小学校の整備を進めました。

また、物価高騰の影響を受ける「市民・事業者への支援」として、燃料費や光熱費の負担を軽減する給付金を交付するなど取組を推進しました。

4 財源対策

予算では、減債基金から 157 億円の新規借入れを予定していましたが、決算では、予算に対して市税や交付金が増収となったほか、庁舎・学校等の光熱費や、保育所の利用児童数、新型コロナワクチンの接種件数が見込みを下回ったことなどに伴う歳出の減などにより、最終的には新規の借入れは行わず、前年度に引き続き 10 億円返済しました。

5 決算の概要（%については、百万円単位での算出による。別紙「令和6年度一般会計・特別会計決算見込の概要について」参照）

歳入決算額		8,713 億円	（前年度 8,632 億円・+81 億円・+0.9%）
(1) 市	税	3,909 億円	（前年度 3,879 億円・+30 億円・+0.8%）
〔市 民 税〕		△ 9 億円	個人△ 34 億円、法人+ 25 億円
〔固定資産税〕		+28 億円	土地+ 24 億円、家屋+ 8 億円 など
(2) 地方消費税交付金		368 億円	（前年度 350 億円・+ 18 億円・+ 5.0%）
(3) 地方交付税		4 億円	（前年度 5 億円・△ 1 億円・△ 23.8%）
うち普通交付税		-	（前年度 - ・ - ・ - ）
(4) 国庫支出金		1,741 億円	（前年度 1,738 億円・+ 3 億円・+ 0.2%）
(5) 諸収入		338 億円	（前年度 338 億円・ - ・ - ）
(6) 市債		583 億円	（前年度 747 億円・△ 164 億円・△ 22.0%）

歳出決算額		8,622 億円	（前年度 8,527 億円・+95 億円・+1.1%）
【目的別（款別）】			
(1) 総務費		578 億円	（前年度 754 億円・△ 176 億円・△23.3%）
(2) こども未来費		1,434 億円	（前年度 1,342 億円・+ 92 億円・+6.9%）
(3) 健康福祉費		1,891 億円	（前年度 1,868 億円・+ 23 億円・+1.2%）
(4) 環境費		232 億円	（前年度 365 億円・△ 133 億円・△36.6%）
(5) 建設緑政費		291 億円	（前年度 312 億円・△ 21 億円・△ 7.0%）
(6) 教育費		1,406 億円	（前年度 1,123 億円・+ 283 億円・+25.2%）
【性質別】			
(1) 義務的経費		5,463 億円	（前年度 5,170 億円・+ 293 億円・+5.6%）
・人件費		1,664 億円	（前年度 1,528 億円・+ 136 億円・+8.9%）
・扶助費		2,537 億円	（前年度 2,395 億円・+ 142 億円・+5.8%）
・公債費		1,262 億円	（前年度 1,247 億円・+ 15 億円・+1.3%）
(2) 投資的経費		955 億円	（前年度 1,193 億円・△ 238 億円・△19.8%）

6 減債基金の状況

6 年度末残高 3,129 億円（前年度 2,919 億円・+210 億円）

※残高には、一般会計の借入 507 億円が含まれています。

7 財政調整基金の状況

6 年度末残高 58 億円（前年度 73 億円・△15 億円）

8 財政健全化指標等（速報値）

- | | | | |
|--------------|-----------|------------|--------|
| (1) 実質赤字比率 | 赤字となっていない | (4) 将来負担比率 | 124%程度 |
| (2) 連結実質赤字比率 | 赤字となっていない | (5) 資金不足比率 | 該当会計なし |
| (3) 実質公債費比率 | 8.5%程度 | | |